

第21回 The 21st Annual Meeting of Japan Society for Respiratory Care and Rehabilitation  
日本呼吸ケア・リハビリテーション学会学術集会

# 市民公開講座

11/3(木)

16:30-17:30

参加費無料

▼ 講演テーマ ▼

## 福島第1原発事故における 放射線被曝の問題と対応

—チェルノブイリ原発事故医療支援の経験を通して—

講師

菅谷 昭 松本市長

座長： 久保 惠嗣

第21回日本呼吸ケア・リハビリテーション学会学術集会 会長  
信州大学医学部内科学第一講座 教授  
信州大学医学部附属病院呼吸器センター呼吸器・感染症内科

会場

長野県松本文化会館 大ホール

長野県松本市水汲 69-2

HP

<http://www.21jsrcr.jp>

## 講師プロフィール

### 菅谷 昭 (すげのや あきら)



出身地 長野県千曲市

昭和 43 年 信州大学医学部 卒業、  
聖路加国際病院（東京）にて外科研修  
昭和 46 年 信州大学医学部第 2 外科学教室 入局  
昭和 51 年 トロント大学（カナダ）留学  
（甲状腺疾患の基礎研究）  
昭和 57 年 信州大学医学部第 2 外科 講師  
平成 5 年 信州大学医学部第 2 外科 助教授  
平成 7 年 12 月 信州大学医学部第 2 外科 退職

平成 3 年 3 月から、松本市の NGO グループによるチェルノブイリ原発事故の医療支援活動に参加。汚染地域における小児甲状腺検診をはじめとし現地に 7 回入り、支援活動を継続。

平成 8 年 1 月 ベラルーシ共和国に渡り、首都ミンスクの国立甲状腺がんセンターにて小児甲状腺がんの外科治療を中心に、医療支援活動に従事。  
平成 11 年 6 月 高度汚染地ゴメリ州に移り、州立がんセンターで支援活動を継続。  
平成 12 年 12 月 チェルノブイリ原発から 90km にあるゴメリ州モーズリ市に転居。現地事務局を拠点に支援活動を継続。  
平成 13 年 6 月 ベラルーシ共和国での 5 年半に及ぶ長期滞在を終え帰国。  
平成 13 年 12 月 長野県衛生部医務課医監  
平成 14 年 4 月 長野県衛生部長  
平成 16 年 3 月より 現職

#### チェルノブイリ関連の著書として

『チェルノブイリ診療記』（新潮文庫）、『チェルノブイリのいのちの記録』（晶文社）、『ぼくとチェルノブイリのこどもたちの 5 年間』（ポプラ社）、『真っ当な生き方のススメ』（岳陽舎）、『子どもたちを放射能から守るために』（亜紀書房）がある。

## お申し込み方法

往復ハガキの往信面に①～⑤をご記入の上、下記の送付先に**10月21日(金)必着**でご郵送ください。往復ハガキ 1 枚につき、代表者を含む 5 名までお申し込みいただけます（参加者が複数の場合は、代表者のみご記入ください）。

- ① 氏名・ふりがな
- ② 郵便番号
- ③ 住所（受講票の送付先）
- ④ 性別
- ⑤ 参加者人数（本人含む）  
※ 参加者が本人のみの場合は、1 名となります。

往復ハガキの返信面は、両面ともに何も記入せず、白紙のままご郵送ください。

送付先：〒113-0033

東京都文京区本郷 3-35-3 本郷 UC ビル 4 階  
第 21 回日本呼吸ケアリハ学会学術集会  
市民公開講座 事務局

先着 1,000 名様に、返信ハガキにて受講票をお送りいたします。尚、定員になり次第、締切りとさせていただきます。また、当選の通知は、受講票の発送をもって代えさせていただきます。

## お問い合わせ

第 21 回日本呼吸ケア・リハビリテーション学会学術集会  
市民公開講座 事務局（株式会社コンベンションアカデミア内）

電話番号：03-5805-5261